

# (株)東芝 府中事業所 11号館



所在地：東京都府中市東芝町1  
 建築面積：7,793㎡  
 延床面積：32,323㎡  
 構造・規模：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造,5階建  
 設計：(株)東芝 一級建築士事務所  
 施工：建築/清水建設(株)  
 電気/東芝プラントシステム(株)  
 完成：平成22年9月

S79

東芝グループの研究開発・製造の一大拠点である府中事業所。  
 新築完成した11号館に先進のLED照明器具と照明制御システムが採用されています。

## (株)東芝府中事業所に、高効率の省エネを実現した11号館が新築完成

(株)東芝府中事業所は鉄道車両製造工場として昭和15年に開設された東芝グループの研究開発・製造拠点です。現在は資源エネルギーの先端技術である発電・原子力・電力系統監視制御システム、また鉄道車両や交通システム、その他公共性の高い社会インフラ事業に関する研究開発と製造が行われています。新築完成した11号館は最先端の環境型ビルとして、高効率の省エネを実現しています。

## 照明器具個別制御(T/Flecs)で執務室の照明をきめ細かく制御し、省エネ

11号館の照明は、点灯区分や調光エリアをPC設定器(パソコン)で自在に設定できる照明器具個別制御システム(T/Flecs)を採用。これにより新築時やランプ交換時の明るすぎる照明も自動調光制御で余分な明るさをカットできます。またタイマー制御を使用すれば始業前や昼食時間等の調光を自動制御できるため、省電力と省力化を同時に両立できます。

設計執務室は32WHf蛍光灯埋込開放器具を均等配置するとともに、T/Flecsの昼光利用制御で日中は窓から入射する外光(太陽光)の明るさの分だけ減光制御して余剰な明るさをカット。設計執務に支障がない約500lxの平均照度を確保しています。そのほかミーティングや試作実験への立会いなど、チーム、グループ単位での離席がある場合には、ブロックやエリア区分ごとに25%点灯に減光させることが可能(調光は25~100%で設定可)です。なお離席時に、照明器具1台ごとに設けられたブルスイッチで任意に消灯することもでき、さらなる省エネが可能です。

プレゼンテーションルームのLEDダウンライト2000シリーズは、コントロールクスにより0~100%の連続調光を行うことで、スクリーンのプロジェクター投影の見えやすさを調整でき、映像を使用した説明効果を一層高められます。

エントランスホールは人感センサーと明るさセンサーを配置してLEDダウンライト2000シリーズを減光制御。人が不在の際は25%点灯、太陽光の入射がある場合は自動減光して省エネが図られています。



設計執務室の照明 均等配置した32WHf埋込開放器具をT/Flecsできめ細かく制御



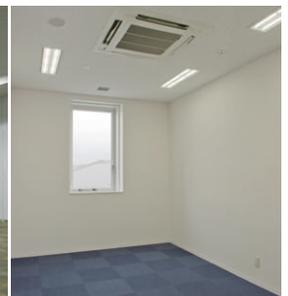
T/Flecs明るさセンサー



T/Flecs通信ユニット



LEDダウンライト2000シリーズを採用したプレゼンテーションルーム



打ち合わせ室の照明



エントランスホールの照明は人感センサーと明るさセンサーで減光制御



リフレッシュルームの照明

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
室内	LEDベースライト直付スリムストリートタイプ	LEDT-32003W-LD9	63	LED 消費電力:38W
	LEDベースライト直付ストリートタイプ	LEDT-65001W-LD9	263	LED 消費電力:81W
	LEDベースライト埋込スクエアタイプ	LEDR-32401NW-LD9	96	LED 消費電力:38W
	LEDダウンライト2000シリーズ	LEDD-20007MW-LD9	133	LED 消費電力:27W
	蛍光灯埋込開放器具	FHR-42478-PD(改)	1457	32WHf蛍光灯ランプ×2